

会社説明資料

2026年 9月

株式会社 ジェイテクト
(6473)

The JTEKT logo is positioned in the bottom right corner of the slide. It features the company name in a bold, white, sans-serif font. A red horizontal line is placed under the 'E' in 'TEKT'. The background of the slide is dark grey with a large, dynamic graphic on the right side consisting of several overlapping diagonal bands in black and red, creating a sense of motion and depth.

JTEKT

1. ジェイテクトについて

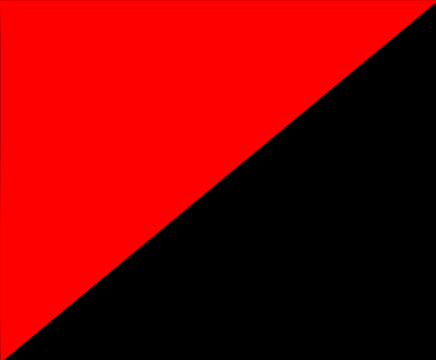
2. わたしたちの事業

3. 第二期中期経営計画進捗

4. 未来への挑戦

5. 業績・株主還元

6. おわりに



1. ジェイテクトについて

JTEKT 1-1. ひと目でわかるJTEKT



会社沿革

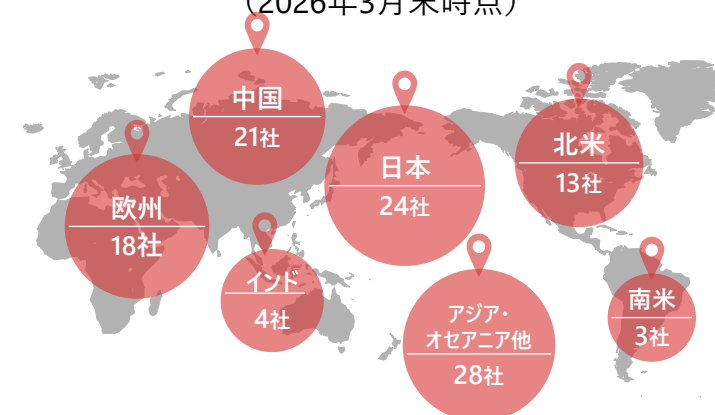
- 2005年 光洋精工(1921年設立)と
豊田工機(1941年設立)が
合併契約書締結
- 2006年 ジェイテクト発足
- 2026年 ジェイテクト 20周年

MVV - Mission Vision Value -



グローバルネットワーク

約**30カ国**で事業を展開
(2026年3月末時点)



*1 事業利益：「売上収益」から「売上原価」と「販売費および一般管理費」を控除した当社独自の管理利益

*2 2025年 年間実績。自社調べ

本社・本店所在地 愛知県刈谷市朝日町一丁目1番地

資本金 455億円

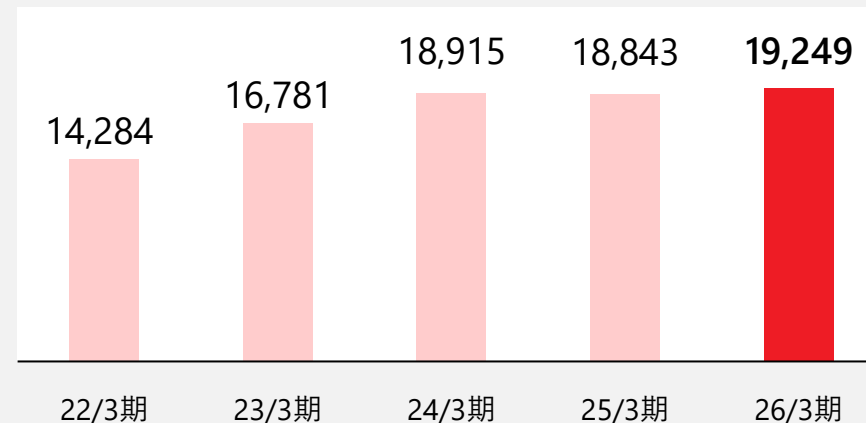
総資産 (連結) 1兆5,776億円
(単独) 9,558億円

売上収益 (連結) 1兆9,249億円
(単独) 8,296億円

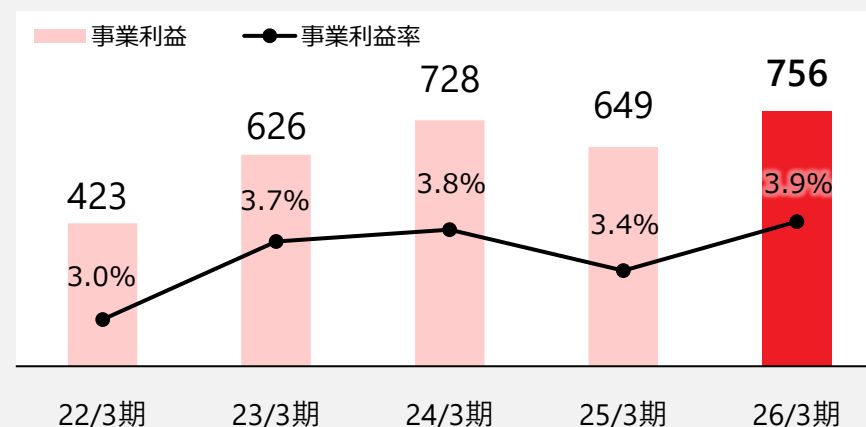
従業員数 (連結) 43,233人
(単独) 11,109人

連結会社数 112社
持分法適用会社数 14社

連結売上収益 推移 (億円)



連結事業利益* 推移 (億円)



* 事業利益：「売上収益」から「売上原価」と「販売費および一般管理費」を控除した当社独自の管理利益

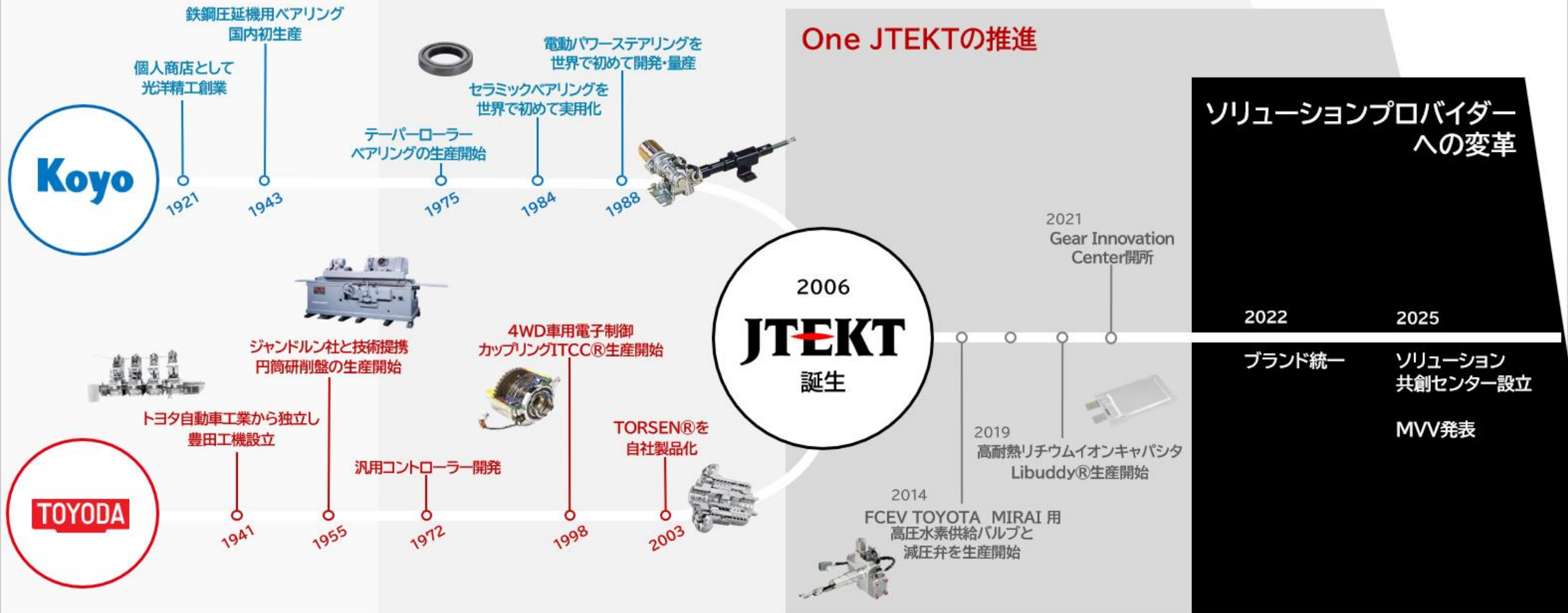
JTEKT 1-3. JTEKTの歴史

祖業による多様な産業への貢献

自動車産業を支える存在に

One JTEKTの推進

ソリューションプロバイダー
への変革



* FCEVはトヨタ自動車株式会社殿の登録商標です

JTEKT

1-4. JTEKTが意味するもの

「J」の意味

JOINT
結合

JOY
喜び

JAPAN
日本発

「TEKT」の意味

古代ギリシャ語で
「卓越した技術を持つ者」を意味する
「Tekton」を短縮

JTEKT

「赤」のアクセントの意味

Electronics
電子制御の分野

Environment
環境保護への積極的な貢献

Emotional
新しい世界を切り開く情熱的な挑戦や開発力

「K」「T」が表すもの

Koyo
光洋精工

TOYODA
豊田工機

■ MVVを共通の指針として、ソリューションプロバイダーへの変革を遂げる!!

Mission
使命・存在意義

Vision
目指す姿

Value
共通の価値観

Mission

技術をつなぎ
地球と
働くすべての人を
笑顔にする

Vision

JTEKT Group 2030 Vision

モノづくりとモノづくり設備で
モビリティ社会の未来を創る
ソリューションプロバイダー

Value

Yes for All, by All!



トヨタグループ 主要17社のうちの1社

光洋精工

設立：1921年
事業：軸受の製造・販売

JTEKT

ジェイテクト

設立：2006年
事業：自動車関連、
ベアリング、
工作機械・システム

売上高 **：1兆9,249億円**

事業利益*1 **： 756億円**
 (26年3月期)

豊田工機

設立：1941年
事業：工作機械の製造・販売

トヨタ自動車

設立：1937年
事業：自動車の製造・販売等

豊田自動織機

設立：1926年
事業：フォークリフト、車両組み立て、エアコン部品等

愛知製鋼

設立：1940年
事業：鋼材、鍛造品、電磁品の製造・販売

トヨタ車体

設立：1945年
事業：トヨタ車の企画・開発・製造

豊田通商

設立：1948年
事業：各種物品の輸出入取引

アイシン

設立：1965年
事業：エンジン部品、自動変速機等

デンソー

設立：1949年
事業：エアコン、熱機器、エンジン駆動系

トヨタ紡織

設立：1950年
事業：自動車用シート製品等内装部品

トヨタ不動産

設立：1953年
事業：不動産の所有管理・売買賃借ならびに受託管理など

豊田中央研究所

設立：1960年
事業：技術開発等の各種研究、試験、調査

トヨタ自動車東日本

設立：2012年
事業：乗用車、商用車、福祉車、自動車部品の製造

豊田合成

設立：1949年
事業：ブレーキ、ホース、樹脂部品製造

ダイハツ工業

設立：1907年
事業：自動車、各種車両・部品の製造・販売等

トヨタホーム

設立：2003年
事業：住宅の技術開発、生産、販売、建設アフターサービス

トヨタ自動車九州

設立：1991年
事業：自動車、部品の製造

ウーブン・バイ・トヨタ

設立：2023年
事業：ソフトウェアを基盤としたモビリティの新技术・事業開発

*1 事業利益：「売上収益」から「売上原価」と「販売費および一般管理費」を控除した当社独自の管理利益

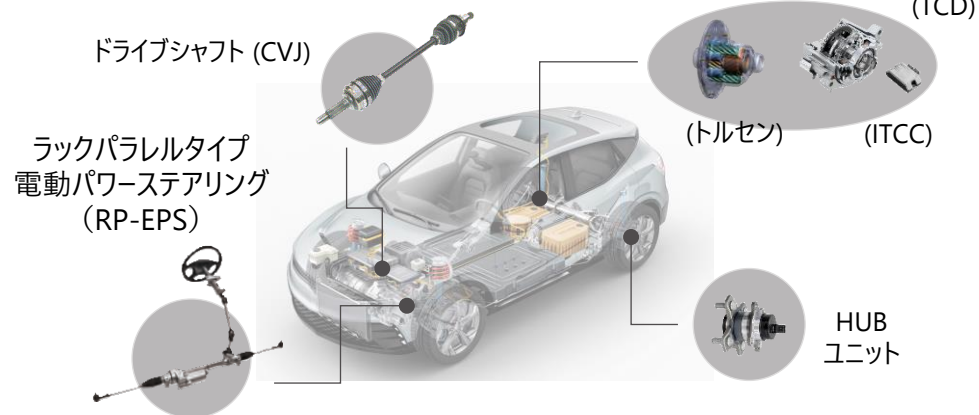
セグメント

事業領域／事業方針

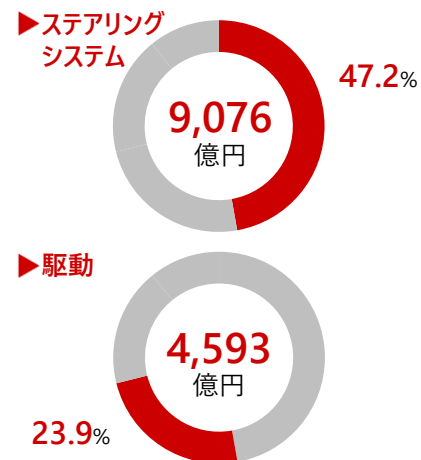
自動車事業



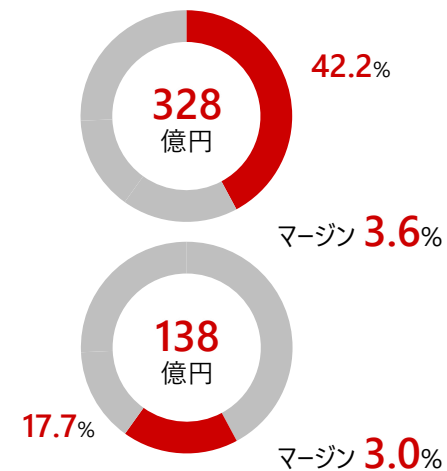
「走る」「曲がる」を担うリーディングサプライヤー



売上収益*1
26/3期 19,249億円



事業利益*1 *2
26/3期 756億円



産機・軸受事業



社会の回転を支え、よりスムーズにさまざまな産業を動かす技術を

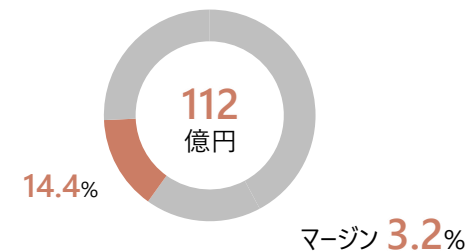
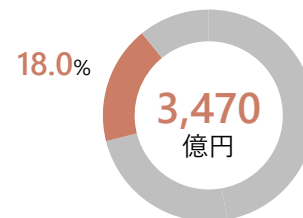
小型・軽量化／
長寿命に応える
産業機械用軸受



半導体／液晶製造
機械を動かす軸受



EXSEV®
軸受シリーズ



工作機械・システム事業



モノづくり全てのフェーズでバリューを提供

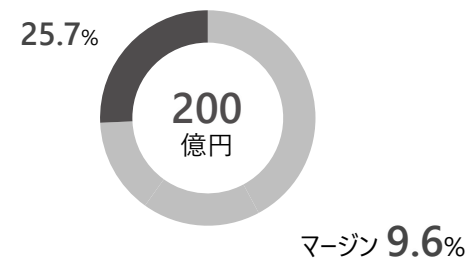
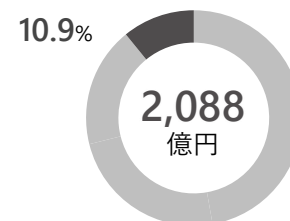
CNC円筒研削盤
G1 Series



横形マシニングセンタ
「FH5000シリーズ」

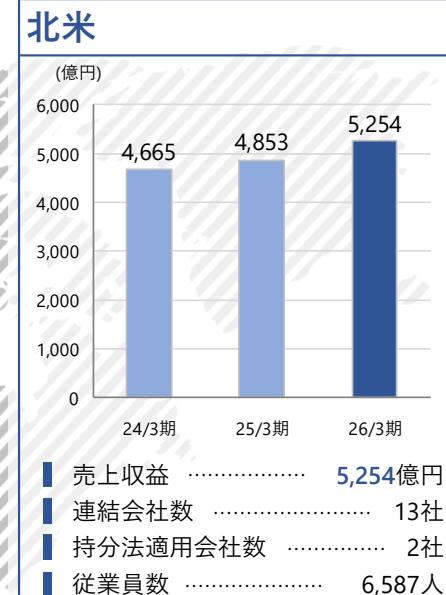
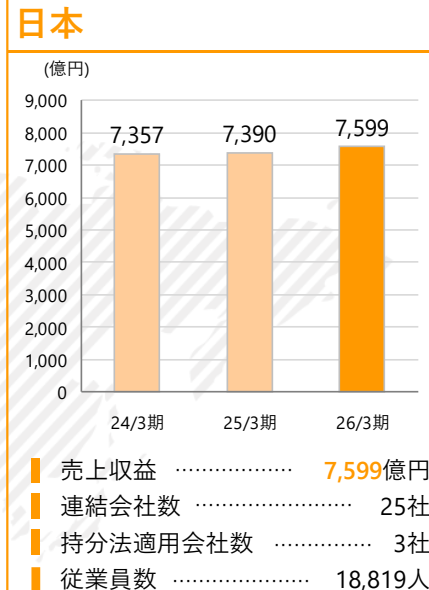
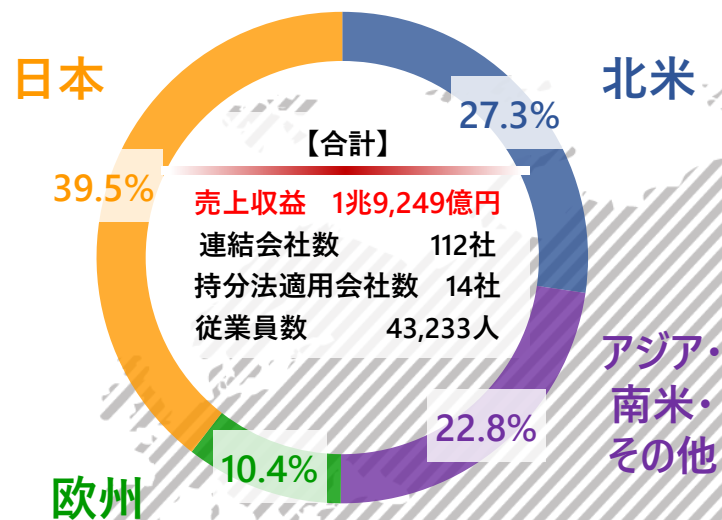


ギヤスカイピング
加工技術



*1 各事業の売上収益・事業利益の割合は、「その他の事業・連結調整額」を除く事業合計に対する割合

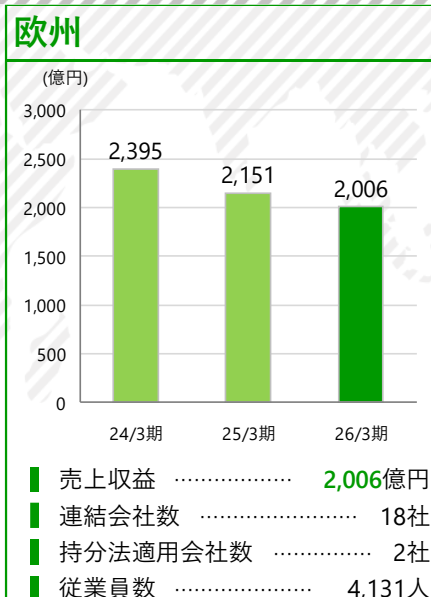
*2 事業利益：「売上収益」から「売上原価」と「販売費および一般管理費」を控除した当社独自の管理利益



EUROPE

(欧州)

★ ● ■ ▲



ASIA

(アジア：含む中国)

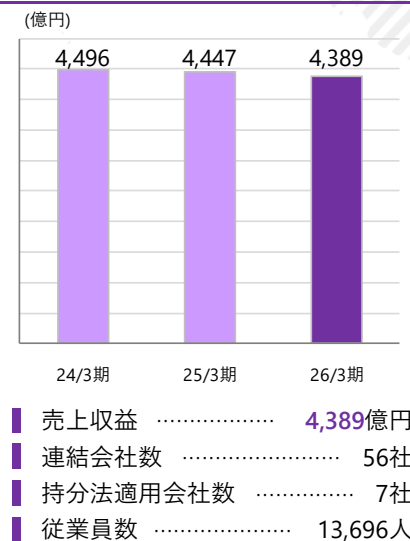
★ ● ■ ▲

OCEANIA

(オセアニア)

■

アジア・南米・その他



SOUTH AMERICA

(南米)

● ■ ▲

※2026年3月31日現在

■ 自動車OEM、部品メーカー約400社と取引

欧州

- BMW
- VW/Audi
- Daimler
- Jaguar
- Renault
- Stellantis
- ZF
- BOSCH
- GKN

アジア

- 一汽集団
- 上海集団
- 東風汽車
- 長安汽車
- BYD
- 現代自動車
- TATA
- Mahindra & Mahindra

日本

- トヨタ自動車
- 日産自動車/三菱自動車
- 本田技研工業
- マツダ
- SUBARU
- ダイハツ工業
- スズキ
- いすゞ自動車
- ARCHION
- デンソー
- アイシン
- 豊田自動織機
- Astemo
- JATCO
- Nidec

北米

- GM
- Ford
- Lucid
- Rivian
- AAM
- DANA
- EATON
- MAGNA
- ALLISON
- DAYCO

■ 農建機、鉄鋼、ロボット、半導体、風力など約2,000社と取引

建設機械

- コマツ
- 日立建機

農業機械

- クボタ
- ヤンマー

鉄鋼

- 日本製鉄
- JFEスチール
- 神戸製鋼
- Primetals Technologies

パワースポーツ

- Yamaha
- Honda
- Kawasaki

電子機器/OA

- 三菱電機
- Canon

ロボット

- FANUC
- 安川電機
- 日本電産シンポ
- 住友重機械工業
- ナブテスコ

産業車両

- 豊田自動織機

工作機械

- ヤマザキマザック
- ツガミ

航空

- 三菱重工
- IHI
- 川崎重工

鉄道

- JR

半導体

- 東京エレクトロン
- Edwards

建設機械

- CATERPILLAR
- JCI
- DANA

農業機械

- John Deere
- AGCO
- CNH

鉄鋼

- POSCO
- Arcelor Mittal
- SMS
- Bao steel
- China steel

パワースポーツ

- Mercury Marine
- Polaris

ロボット

- Midea Group

風力発電

- Siemens Gamesa RE

医療機器

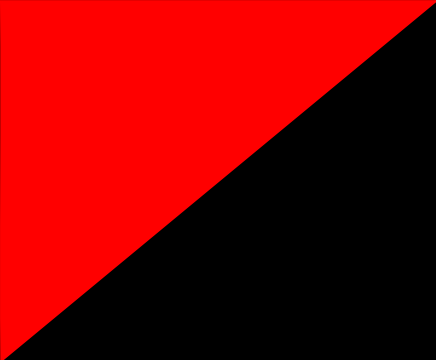
- GE Healthcare

油圧機器

- EATON

半導体

- Brooks automation
- Applied Material
- ASML

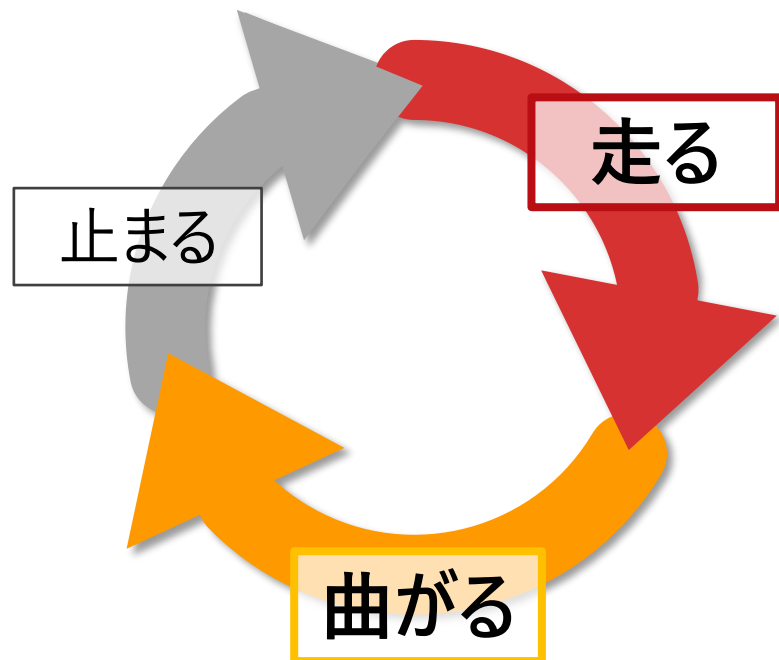


2. 私たちの事業



自動車事業

“CASE”と呼ばれる新しい領域において技術革新が進む中、
100年に一度の変革期を向かえている自動車業界。
「走る」「曲がる」を担うリーディングサプライヤー
ジェイテクトは走る喜びをさらに加速します。

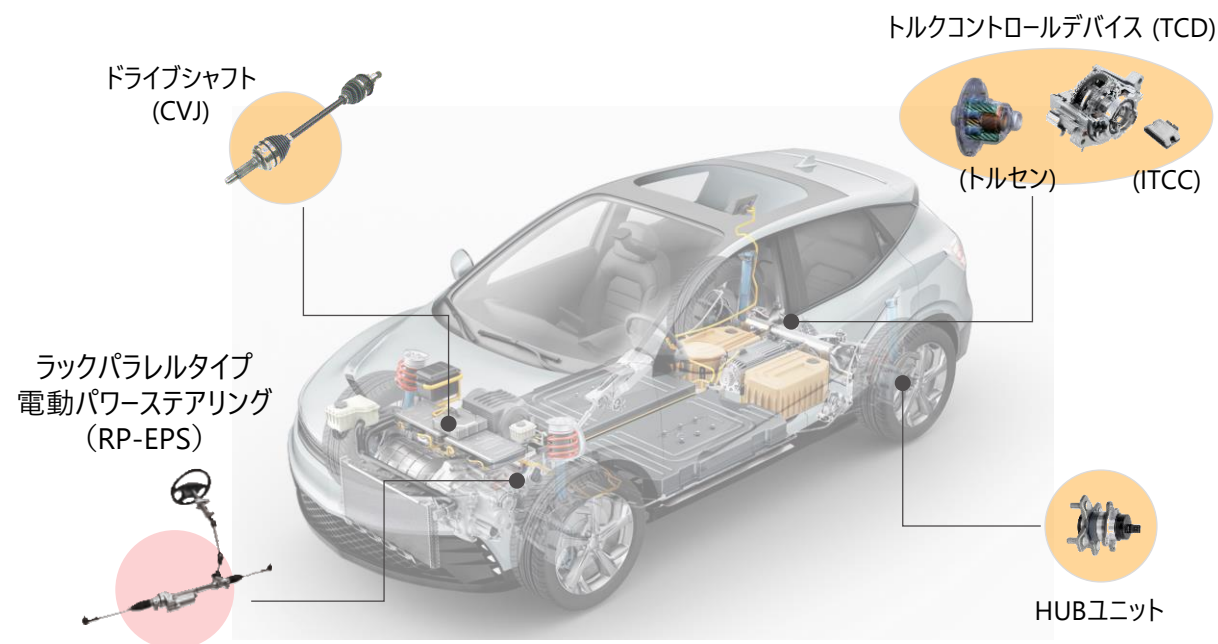


自動車「走る」を担う 駆動部品

- ✓ 車両の**運動性能、走行安定性**を飛躍的に向上、**省燃費・省エネ**にも貢献
- ✓ ドライブライン～HUBまで伝達系製品を全てカバー

自動車「曲がる」を担う ステアリング

- ✓ ステアリングシステムで “**世界シェアNO.1**”
- ✓ 市場ニーズに応えるため、全てのラインアップをそろえる
(小型～大型車まで) → **あらゆる車両/地域に適用可能**



■ 当社のステアリングシステムは、幅広い製品ラインナップとグローバル生産拠点により、世界シェアNO.1を実現

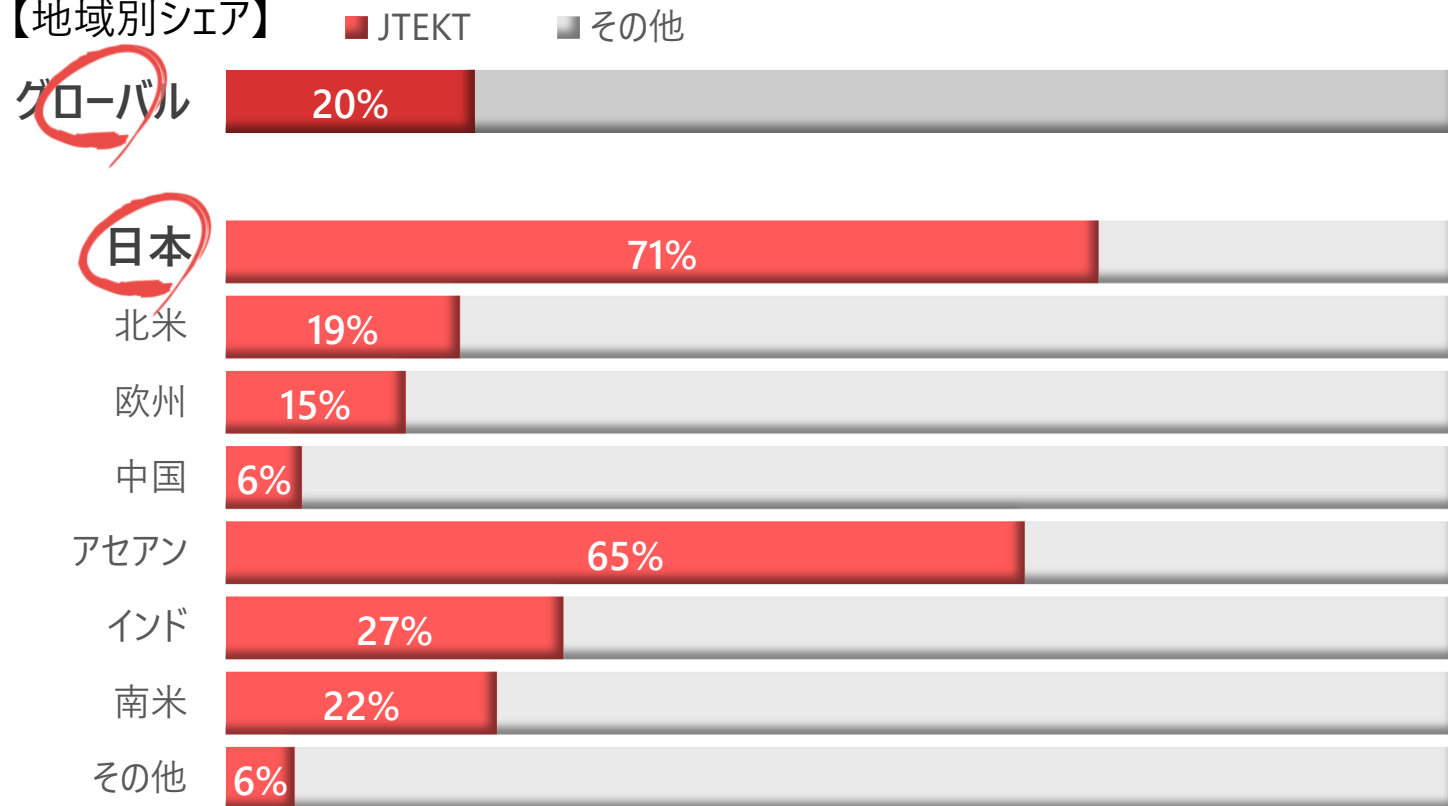


世界の自動車
5台に1台



国内の自動車
3台に2台

【地域別シェア】



2026年4月現在 (社内調査)



産機・軸受事業

モノの回転をスムーズにすることで、見えない場所から
世界の産業を、暮らしを支え続けるベアリング。

動くところすべての可能性を広げる、
トライボロジーから材料開発、加工技術で産業を革新します。

モノの「**回転をスムーズ**」にする ベアリング(軸受)

- ✓ “**機械産業の米**” とも呼ばれており、社会に必要不可欠な機器で活躍
- ✓ 自動車向け
より**低トルク/小型軽量**の製品を開発し、BEVの**電費向上に貢献**
- ✓ 産機向け
小型から大型まで生産可能であり、あらゆる業種に提供



ベアリングの貢献領域

- ▶ 半導体・FPD・高機能フィルム・建設・運搬・農業機械・工作機械
- ▶ 風力発電・太陽光発電・鉄鋼・自動車・医療機器・航空機・鉄道車両(新幹線)
- ▶ 複写機・エアコン・パソコン



過酷な環境や精度が求められる機械においても、しっかりと役割を果たせる「高い性能と品質」

- ▶ 役割①：摩擦を少なくし、回転を滑らかにする
- ▶ 役割②：回転を支える部分を守り、“軸”を正しい位置に保つ

鉄鋼設備用軸受



- ✓ 重荷重・超高温の中でも、精密な動きと高速回転を実現
- ✓ 転がり、疲労寿命、靱性、耐食性を大幅に改善

半導体製造装置用軸受



- ✓ 精度が求められる半導体製造に関わるあらゆる機械に使用
- ✓ 高いコーティング技術を有し、耐食性も兼ね揃える

工作機械・システム事業

「お客様のつくるモノの価値を高める」

それがジェイテクトが目指すラインビルダーの使命です。



モノづくりの「**生命線を支え続ける**」 工作機械

- ✓ あらゆる機械や部品は、工作機械によってつくられる → **全てのモノづくりを支える**
- ✓ それぞれのグループ各社で**コア技術・コンピタンス**を持ち、**総合力の結集**により工作機械を提供

機械をつくる -工作機械-

「モノづくりのマザーマシン」

- ▶ 高品質の製品を生み出す超高精度の機械を提供

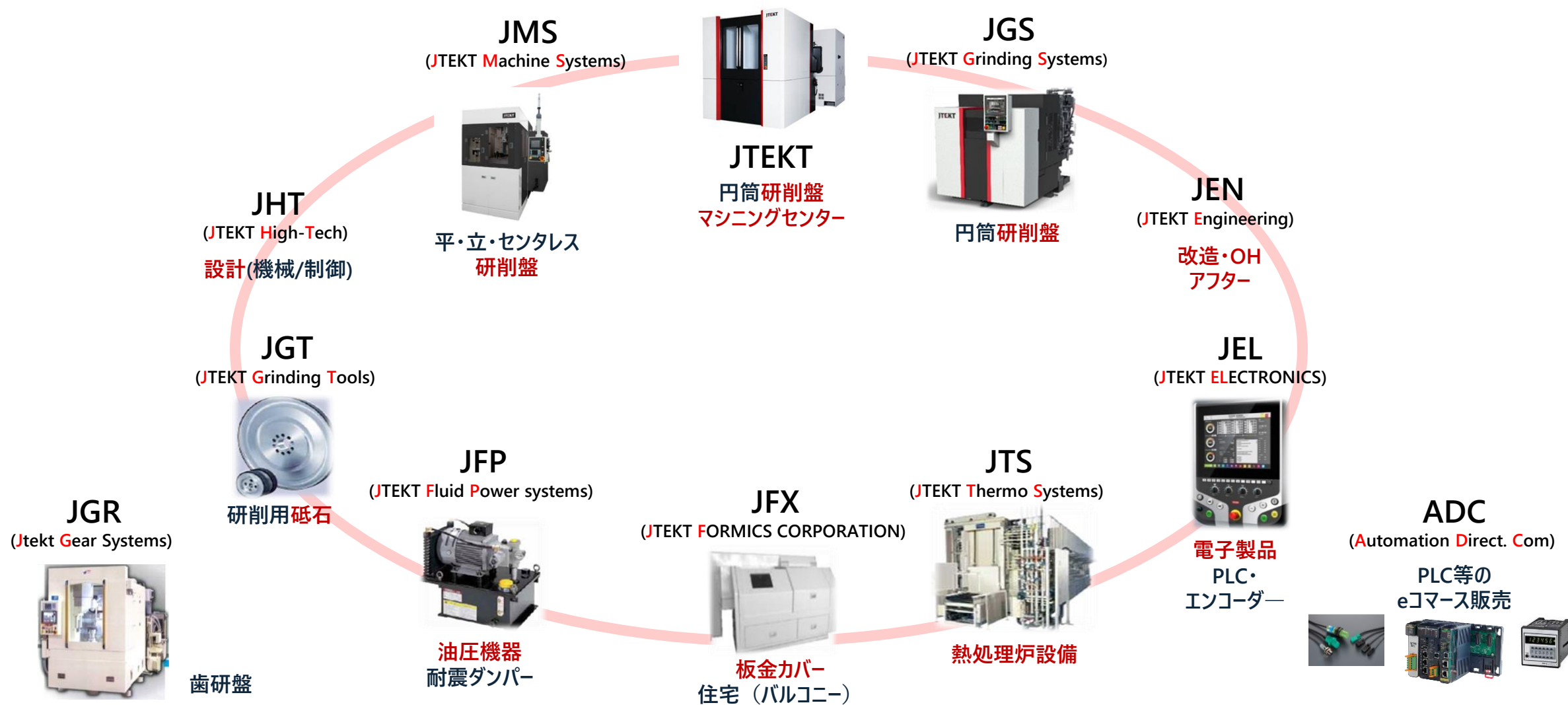
生産ラインをつくる -メカトロニクス-

「生産性の高い生産ライン」

- ▶ 工場全体を制御し、動かす技術を提供



■ グループのコア技術/コンピタンスを組み合わせ、ソリューションプロバイダーへ



3. 第二期中期経営計画の進捗

第一期中計

赤字体質からの脱却は完了

更なる成長へ、事業構造転換、
欧米構造改革は継続



ONE! JTEKT

2022年4月 Koyo、TOYODA、JTEKTは、
すべてのブランドを **JTEKT** に統一します。

第二期中計

- I 既存製品の高付加価値化
- II 新領域へのチャレンジ

付加価値向上と欧米構造改革に注力
ROE・利益率改善

余力を確保し、
ソリューション創出ヘリソースをシフト

第三期中計

- II 新領域へのチャレンジを
拡大・収益力強化

新規事業・ソリューションの拡大を
軸とした更なる成長

JTEKT Group
2030 Vision

刈り取りと飛躍

既存事業の成長と
新規事業の育成

2024

2026

2027

2030

体質強化の3年

2021

2023

“モビリティ社会の未来を創るソリューションプロバイダー”への飛躍

JTEKT Group 2030 Vision

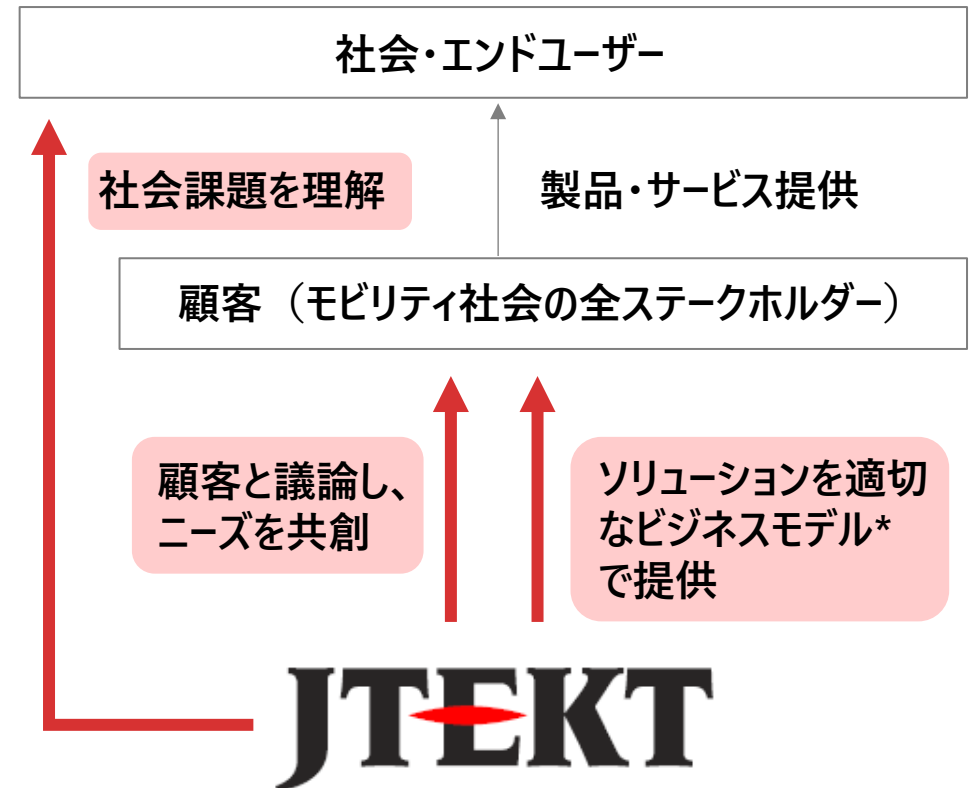
モノづくりとモノづくり設備で
モビリティ社会の未来を創る
ソリューションプロバイダー

ビジネスモデルの転換 (パラダイムチェンジ)

【従来】 Job Request受領を起点にビジネス開始

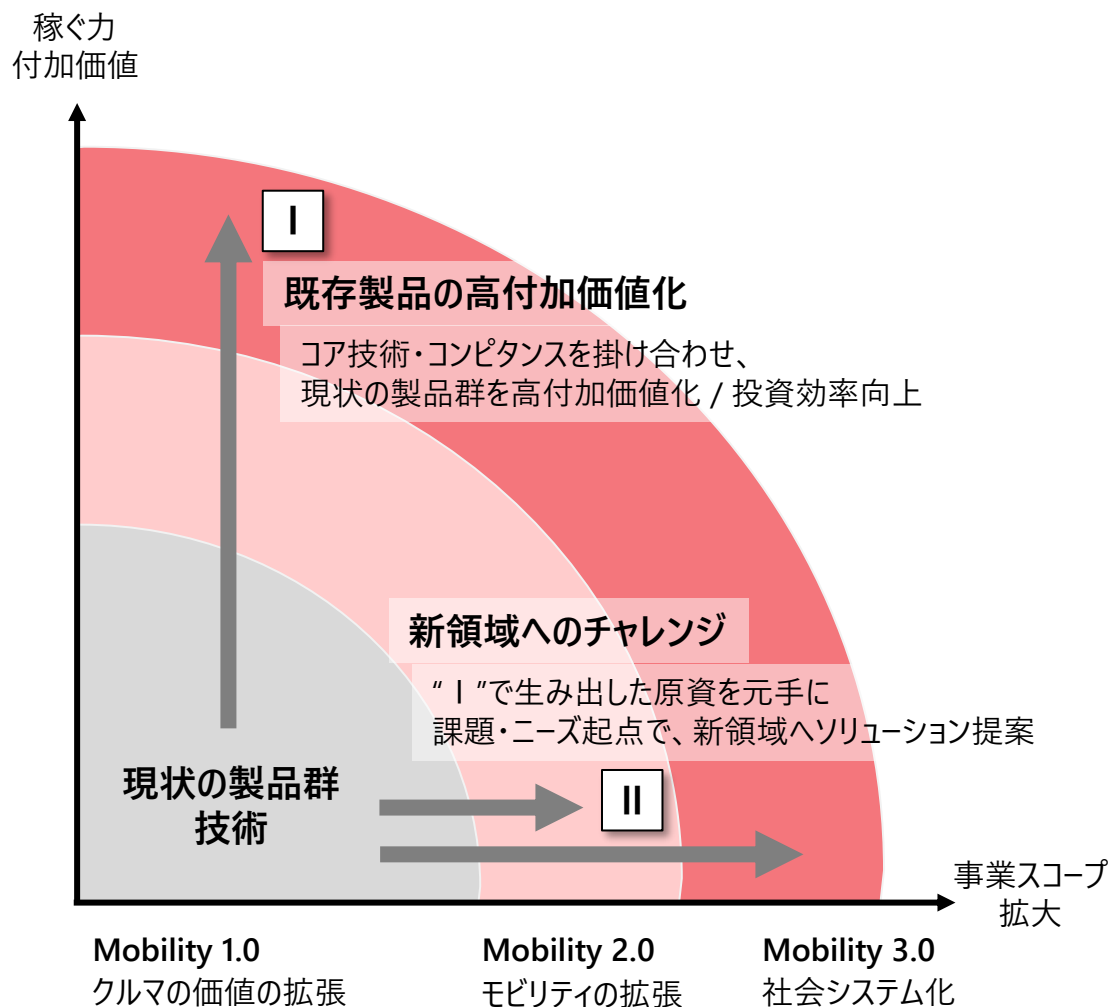


【今後】 共創を通じ、ニーズを起点にソリューション提供

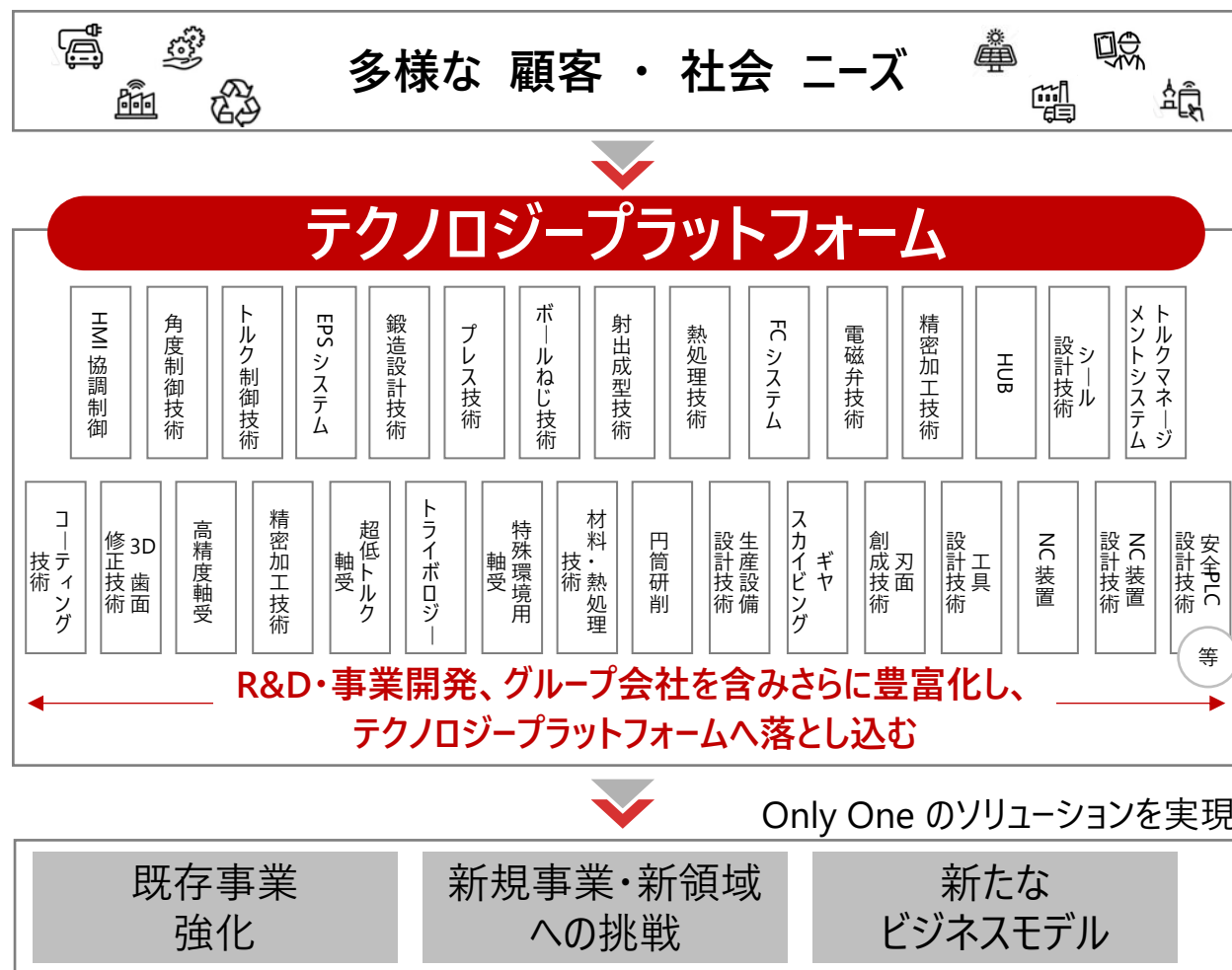


* 製品提供だけでなく、IP/設計図外販、製造委託請負等、柔軟に提供

■ 既存製品の高付加価値化で生み出した 原資を活かし、新領域へチャレンジ



■ 異なる祖業・領域を持つJTEKTだからこそ、 コア技術・コンピタンスを掛け合わせ多方面に展開



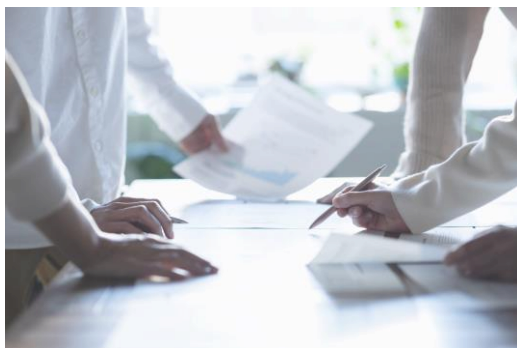
■ ROE・利益率の改善と将来のソリューション拡充に向けて、経営・事業体制の強化を図る



ソリューションの創出力強化

ソリューション共創センターの発足

- 全社のコア技術・コンピタンスを掛け合わせ、迅速なソリューション化を実施
- テクノロジプラットフォームの構築



競争力の強化

収益力最大化に向けた事業戦略構築

- 2030 Vision / ソリューション拡充を実現するためのアクションプランを具体化
- 売上拡大でなく、ROE・利益率改善を目指した戦略を検討

事業を支える“デジタル基盤”強化

- デジタルモノづくり改革を進め、エンジニアリングチェーンを一気通貫で刷新
- 情報基盤の刷新を図り、経営・業務を含めた全社でデジタル活用を推進

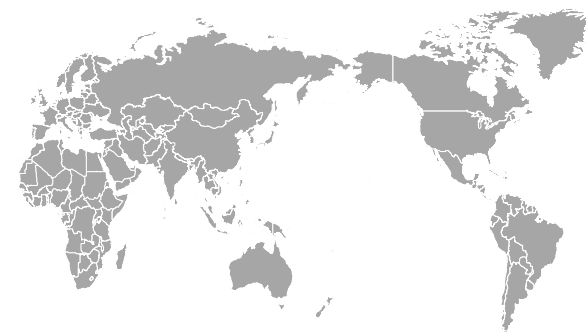
グローバル体制の再構築

インド拠点強化

- グローバル拠点としての活用を推進

欧米の構造改革

- グローバルで開発・生産の最適配置を推進



■ 中計目標達成に向け前述の施策を実行中、特に構造改革が寄与し、目標達成も視界に捉えている

	2025 実績	2026 見込	2026 中計
ROE	1.4%	6.2%	7-8%
事業利益率	3.9%	4.8%	5-6%
PBR	0.66倍	-	1倍
売上収益	1.92兆円	1.88兆円	2兆円
従業員エンゲージメント (eNPS*)	-63	-	-55
CO ₂ 削減量 2013年度比	-45%	-	-45%

中計目標を前倒しで達成見込み

見込み値

【財務指標】

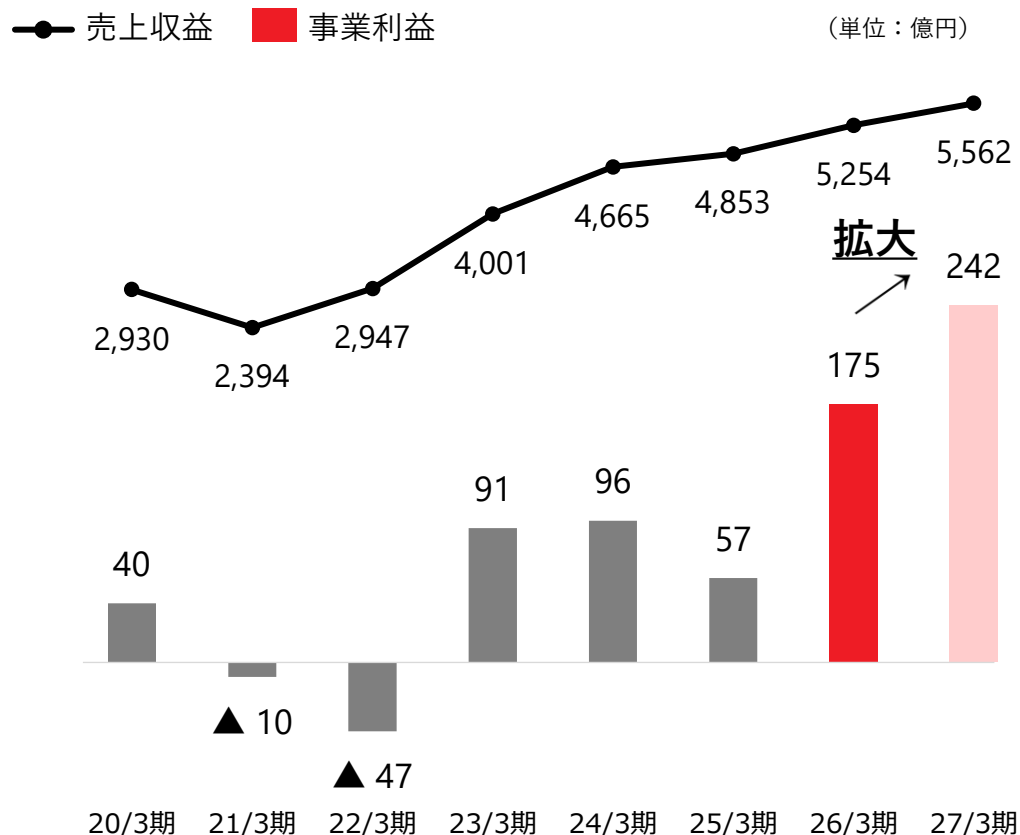
- ✓ 市場環境の変化に伴う売上の下振れにより ROE・利益率ともに現時点では目標未達だが、**目標達成も視界に入っている**
- ✓ **構造改革は、中計に沿って着実に推進中**
そのため25年度のROEは低迷 (計画通り)
ただし、一部の費用計上が26年度にズレ込み

【非財務指標】

- ✓ 労使の対話とサーベイ起点の職場改善により、eNPSは改善傾向
- ✓ 花園工場にCNプラントを新設し、CN実現を加速
蓄電・水素による工場規模でのグリーンエネルギーの地産地消を実証 → ビジネス化準備中

- タスク・フォース・チーム(TFT)活動により、生産の正常化 (ロスコストのゼロ化)・価格の適正化が順調に進捗
- 今後は成長地域として、更なる黒字拡大に向けTFT活動の総仕上げを実施する

売上・利益推移



タスクフォースチーム活動

生産性改善 (ロスコスト削減)

グローバル各地域での好事例を活かした生産体制の立て直し

- ✓ 日本流の教育導入“Mendo-mi活動” → [離職率低減](#)
- ✓ 生産の入替 (複雑な加工：日本、簡単な組付け：米国)
→ [生産応援/Air代の発生STOP、不良率/スクラップ率削減](#)
- ✓ ライン改造・自動化の加速 → [省人化 / PPH*改善](#)



価格適正化

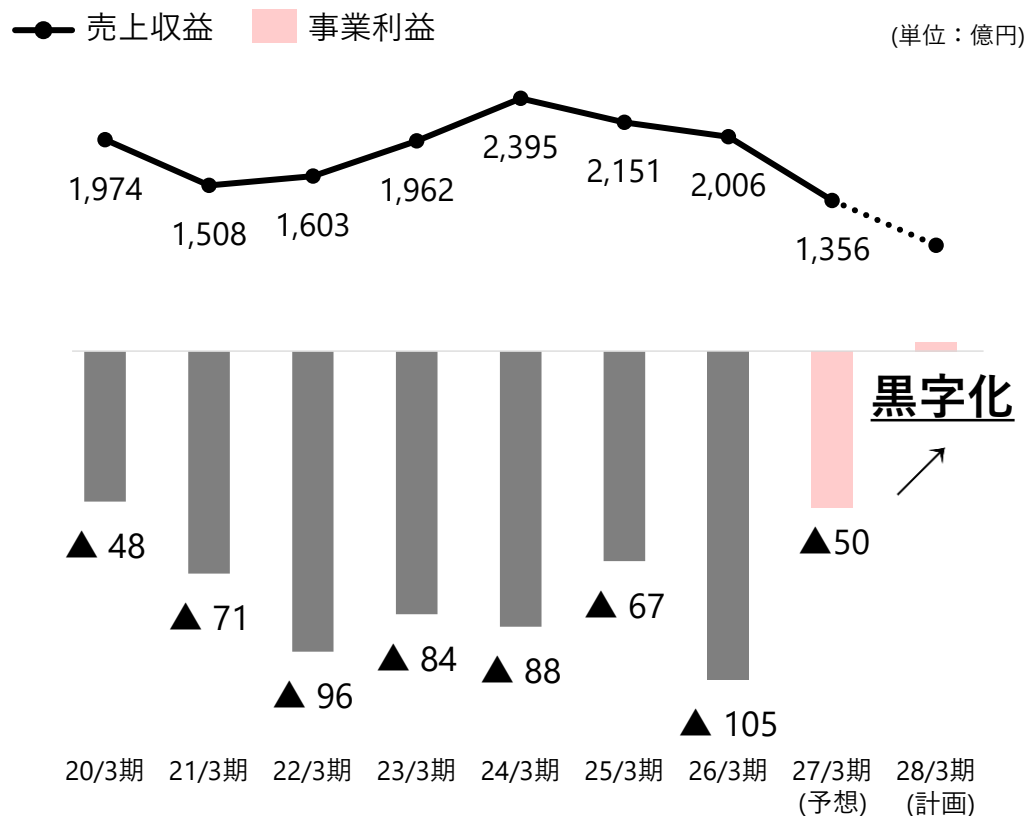
市況変動 (物量の不安定さ・急激なインフレ・関税等)がある中、サプライチェーン全体での改善活動を推進

- ✓ 客先とのコミュニケーションを強化 → [価格適正化\(売価改善\)](#)
- ✓ 仕入先への困りごとヒアリングを強化 → [原価改善の共創加速](#)

■ 長年赤字が継続している欧州事業について、複数事業の譲渡を決断

■ 構造改革の完遂により、28/3期に欧州事業は黒字化の見込み

売上・利益推移



これまでの構造改革の取組み

24/3期 ポンプ事業の譲渡

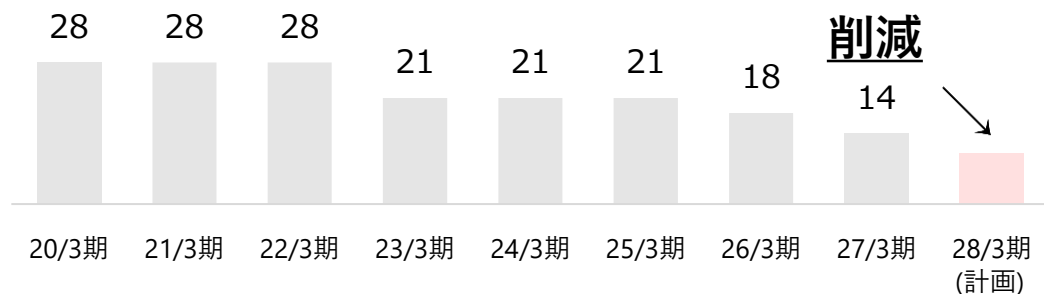
26/3期 NRB*事業の譲渡

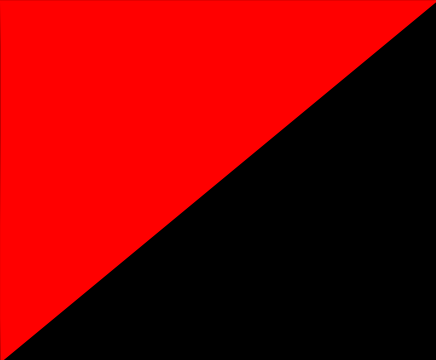
27/3期 欧州顧客向け自動車事業の譲渡(7月末)

27/3期 残りの構造改革を推進

〔 HUB・軸受製造拠点(ルーマニア・英国)の撤退
→ 日本・中国等への生産移管 〕

拠点数





4. 未来への挑戦

動画ご参照

■ ステアバイワイヤの新ブランドとして、Syncusteer™ を発表(26/5/7)

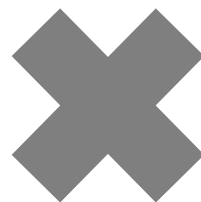


【各方面から受賞】

- 🏆 日本機械学会
(R7 日本機械学会賞(技術))
- 🏆 自動車技術会
(2026年 技術開発賞)
- 🏆 トヨタ自動車様
(技術開発最優秀賞)

SYNC (同調・協調)

- ドライバーと車両がひとつに
- 人と機械が寄り添う



STEER (操舵)

- 培ってきた技術への誇りと責任
- 「曲がる」の体験価値の拡張

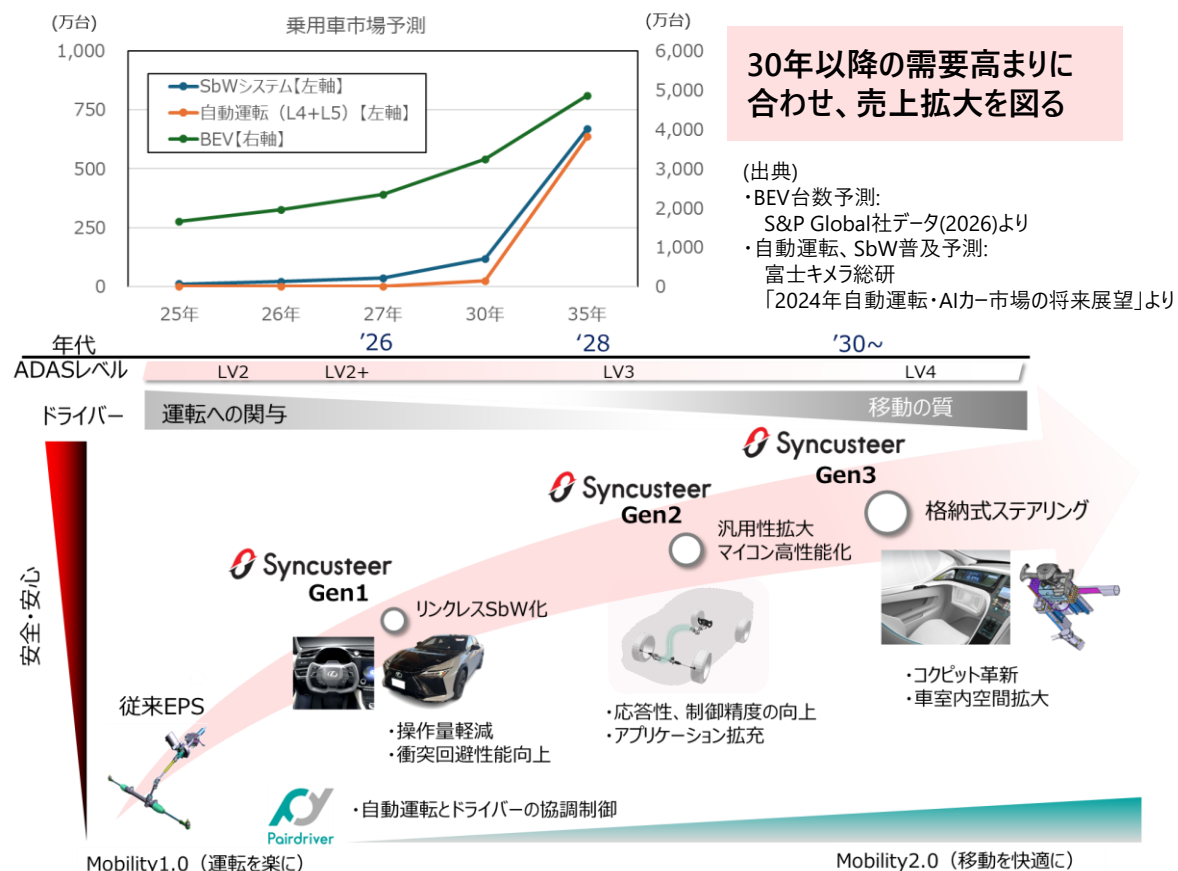
US

お客様/ジェイテクトの技術

■ SbWの需要は、自動運転・BEVの普及とともに2030年以降急速に高まる予測

■ 我々の強みを活かし、戦略を立て、デファクト化を目指す

市場規模予測とSbWの進化

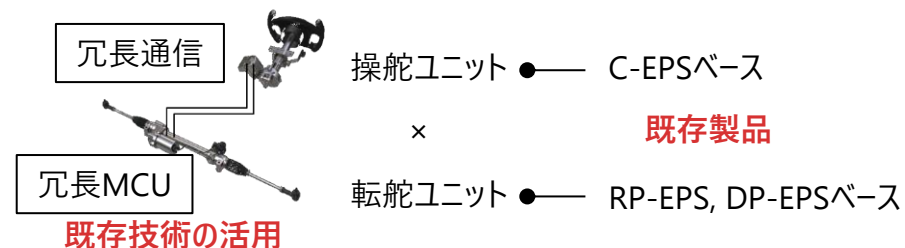


デファクト化に向けた戦略

■ ジェイテクトの強み

✓ 高い信頼性と量産性

既存製品・既存技術・既存設備を活用可能



✓ 高度な制御/通信技術

世界No.1のEPS経験に基づき、ドライバーに必要な路面情報を精緻に伝達



■ 戦略

✓ グローバル市場の二極化に対応したECU*システム提案

✓ モジュール設計の強化

✓ 生産ライン改革による投資抑制

- 工場での困りごとを解決する「工場ソリューション」に取り組んでいく
- 設備、自動化プロセス、工場マネジメント、CNソリューションの4面での総合提案を行う

【社会課題】

- ・工場の労働力不足
- ・技術継承、技術力低下
- ・CN・CEへの対応
- ・エネルギー・資源高騰

工場ソリューション

Mission

技術をつなぎ
地球と
働くすべての人を
笑顔にする

Vision

JTEKT Group 2030 Vision

モノづくりとモノづくり設備で
モビリティ社会の未来を創る
ソリューションプロバイダー

Value

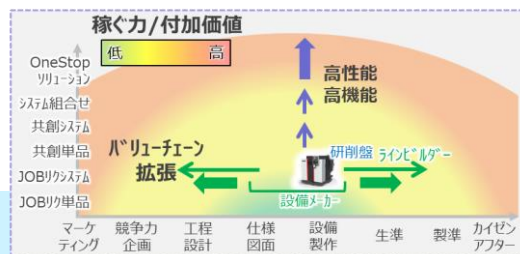
Yes for All, by All!



1. 設備

物

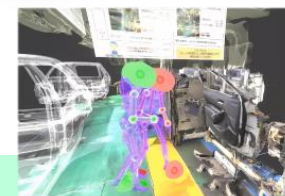
- ・機械単品売りに留まらず、
ターンキービジネス化を通じ、
バリューチェーンの拡大を目指す



2. 自動化プロセス

人

- ・デジタルとTPSを武器に
モノづくり現場の自動化における課題を解決



4. CNソリューション

エネルギー

工場の省エネ・再エネ・蓄電・水素・運用モデル・
実証環境を統合し、企業が実行可能なCNを
オールインワンで設計・実装するソリューション



3. 工場マネジメント (IoE)

情報

- ・稼働状況の可視化
- ・設備管理、保全サポート
- ・データ分析、AI活用による最適化
多様な生産現場でのデータに基づく
ソリューションを提供

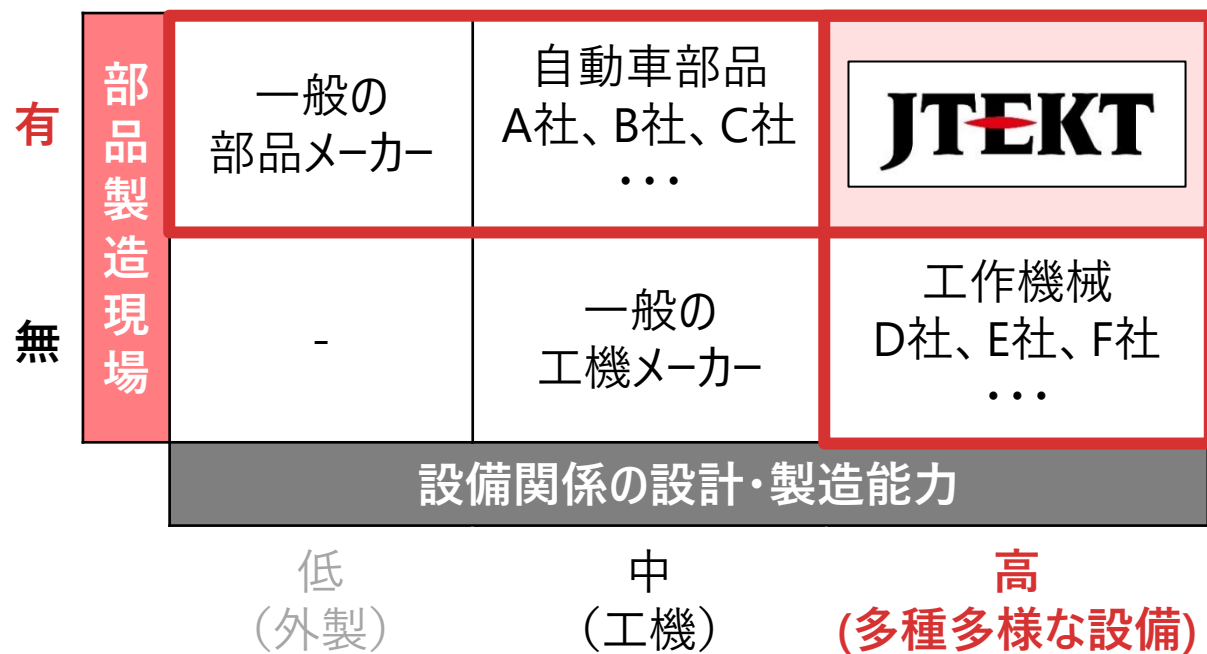


JTEKT 4-4. なぜ工場ソリューションなのか？

■ 稀有な立ち位置(部品×設備×現場)だから、“工場の困りごと単位”で価値提供できる

■ ジェイテクトのポジショニング = 稀有な立ち位置

- ✓ 自ら部品製造の工場現場を持ち、同時に工作機械・設備を作る技術力を持つ数少ないメーカー
- ✓ 「作る側」と「使う側」の両方を実体験として理解していることが最大の強み

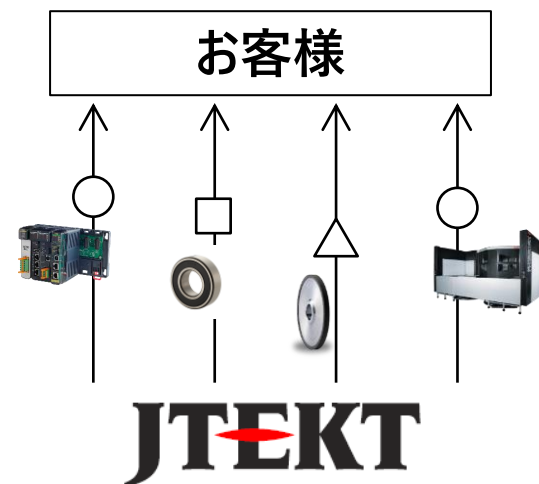


■ ソリューションプロバイダーへのステップ

- ✓ 既に「工場課題を解くピース」は揃っているが、単品での提供に留まってしまっている
- ✓ ジェイテクトだからできる工場の「次の課題」まで見据えたトータルソリューションを他社工場へ提供していく

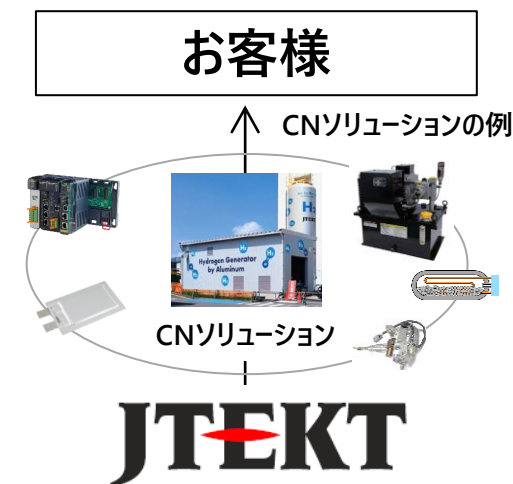
(現状)

「点」での提供(単品売り)



(目指す姿)

トータルソリューション提案



■ “表面処理” ～ “仕上加工” を研削盤の機上でワンチャックで実現するレーザークラッド複合研削盤を開発



■ レーザクラッド複合研削盤により、以下3点の嬉しさを提供

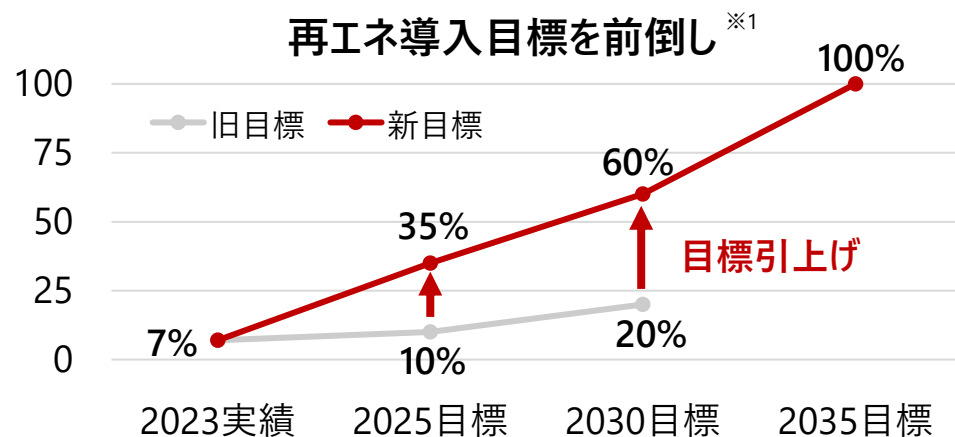
- ✓ 表面処理の内製化により、リードタイムとコストを削減
- ✓ 傷や摩耗を補修・再生し、廃棄を防ぐ
- ✓ 環境負荷の低減



■ 積極的な再生可能エネルギー活用とコンピタンスの掛け合わせによるCNソリューションを開発

■ 工場ソリューションのパッケージの一つとして、ビジネス化を推進中

グローバルで再エネプロジェクトを推進



オンサイト・オフサイトPPA/VPPA^{※2}を推進



ソーラカーポート



フェンスソーラ



風力発電

証書購入に頼らない再エネ戦略

オンサイト：屋根だけでなく、カーポート等にも積極導入

オフサイト：荒廃地の活用など環境への負荷を配慮

CN ×  = CNソリューション

※コアコンピタンスプラットフォーム

コンピタンス

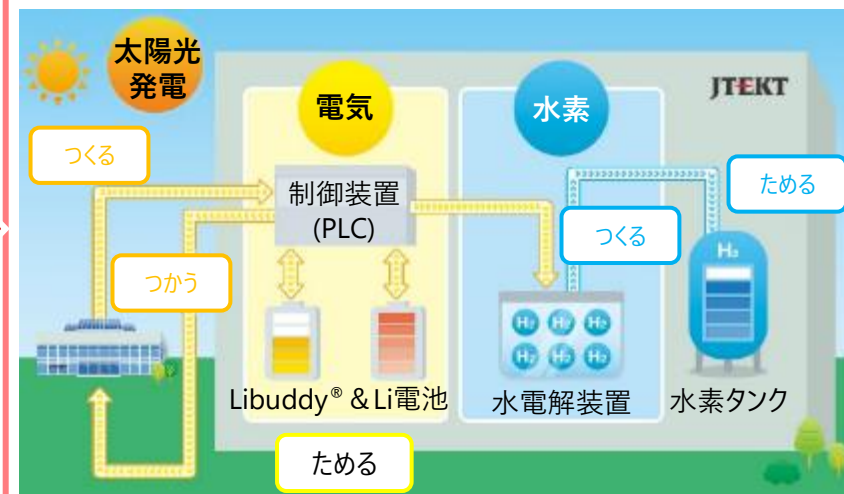
- 工作機械 
- 装置設計技術 (シンプル・スリム・コンパクト)
 - システム制御技術

新事業

- キャパシタの新たな活用

カーボンニュートラルの実現へ

刈谷CNラボ：再エネから電気・水素を生成



- 工場保全のDX化の取り組みとの一つとして、保全オペレーションセンター(MOC)を設立
- デジタルのチカラで設備保全・管理の働き方を変え、もっとラクに もっとスマートに 現場力を高める

【Before】

- ・紙ベースの修理依頼と情報連絡
- ・保全職制が複数の修理現場を巡回、順番にサポート



【After】

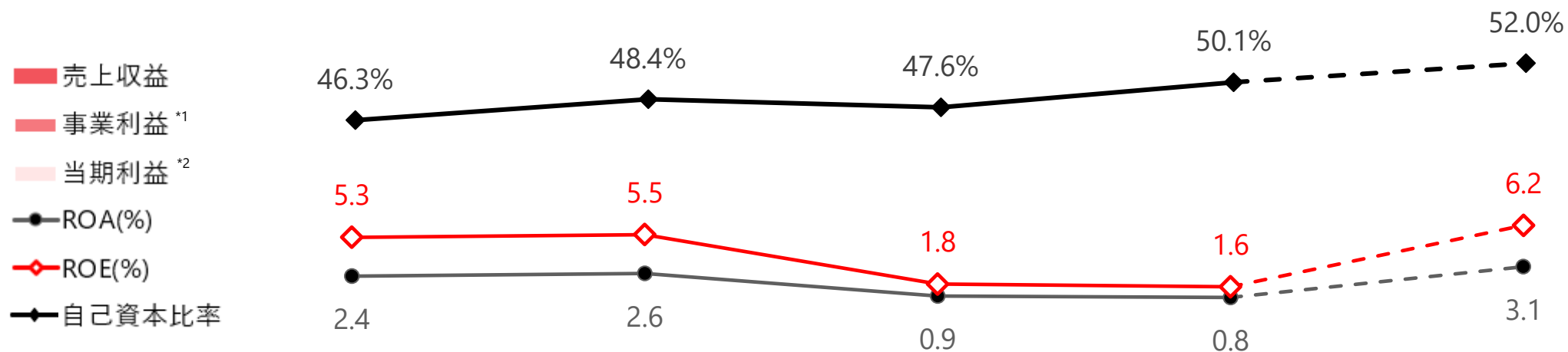
一工場から他工場へ横展

- ・4つの保全支援アプリ(J-MOC)を市民開発
- ・アプリの活用でリモート修理依頼 & 修理進捗の集中管理
- ・海外にもリモートで修理サポート

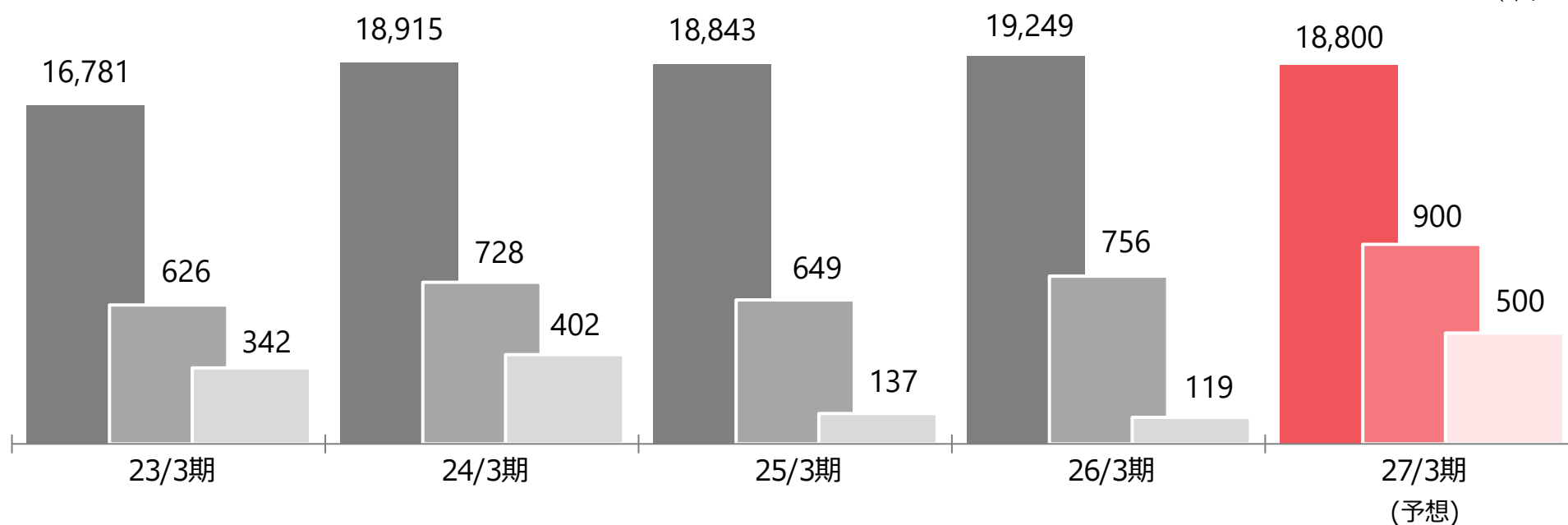


- ✓ 保全作業でケガを出さない → 安全感度の向上を目的とした作業前KY(危険予知)アプリを開発
- ✓ 現在の修理状況、人員配置等の情報が「リアルタイム」かつ「リモート」で確認可能
- ✓ 適切な指示、人員配置、支援が可能、設備修理時間短縮で余力創出
→ 余力を「人財育成」「故障未然防止」「海外支援」に活用

5. 業績・株主還元



(単位：億円)

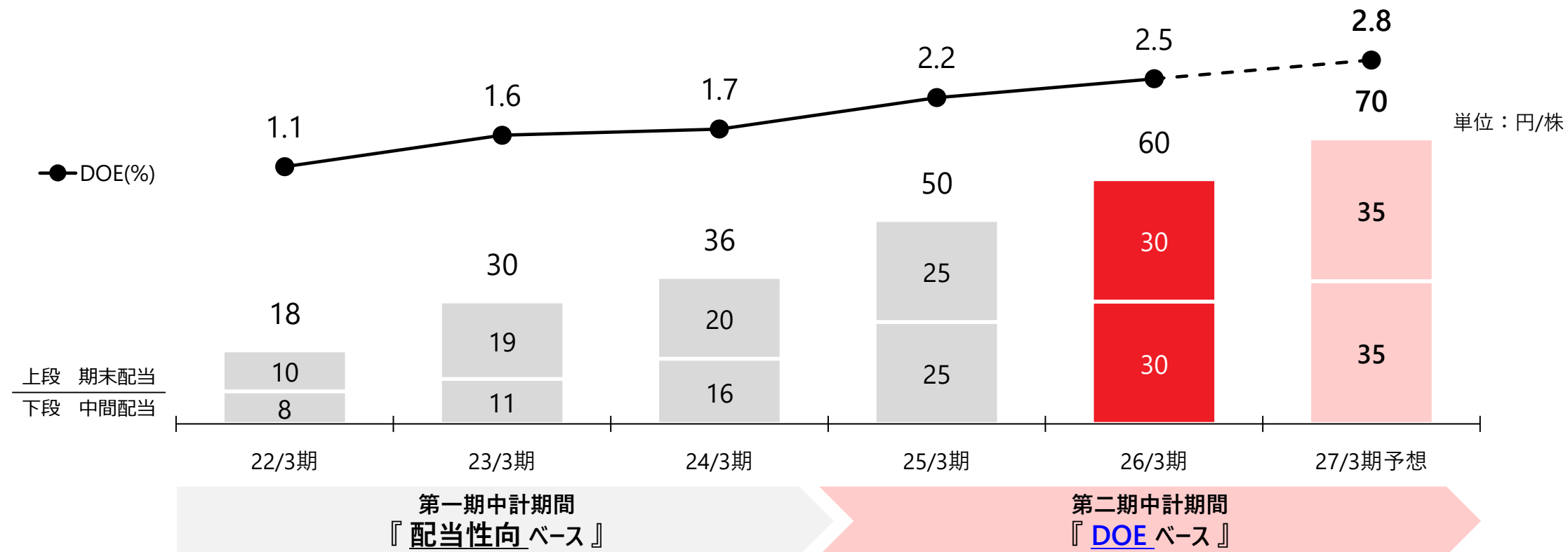


^{*1} 事業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販管費 : IFRS導入に伴い、当社が設定した管理利益 (日本基準の「営業利益」と同等)

^{*2} 親会社の所有者に帰属する当期利益

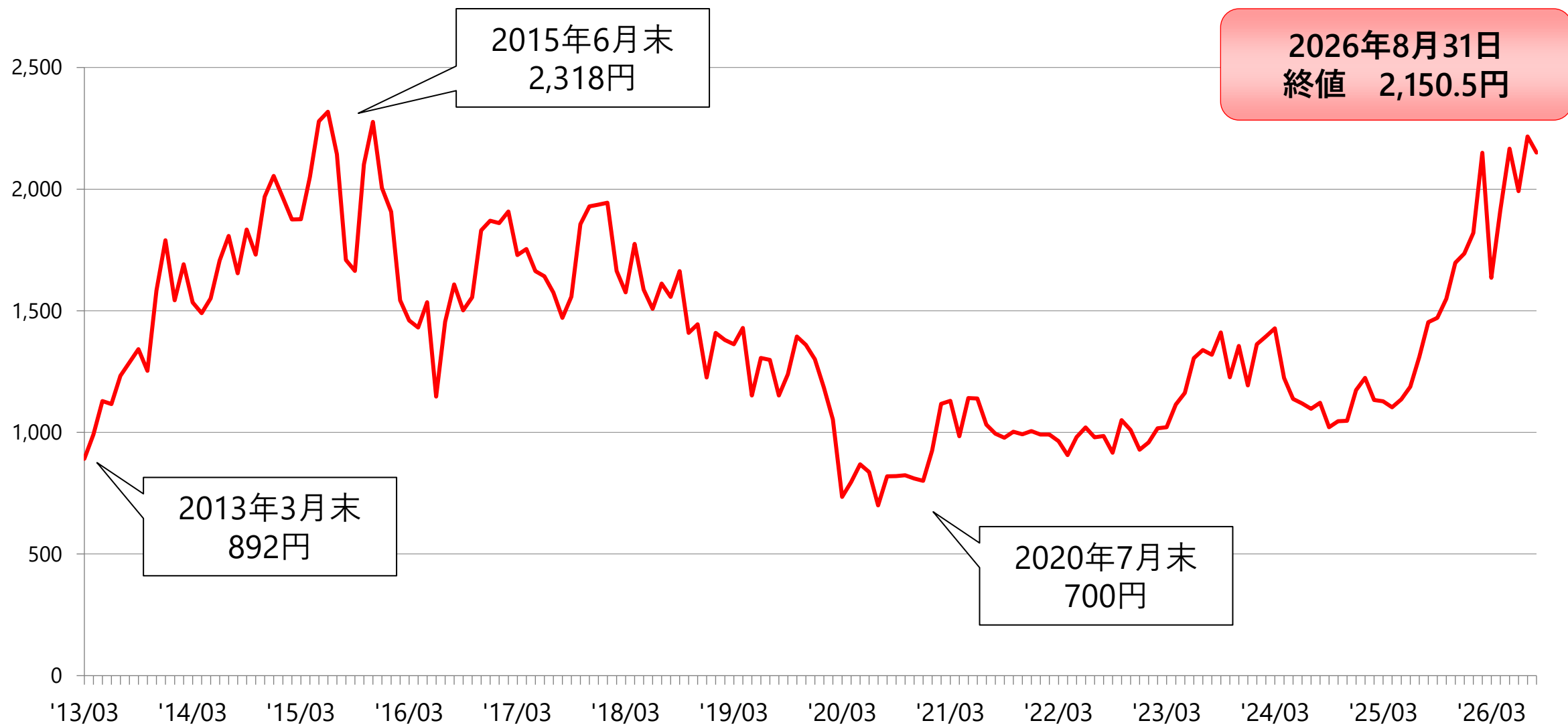
■ 中期経営計画に沿って、財務健全性とのバランスを取りながら株主還元を拡充

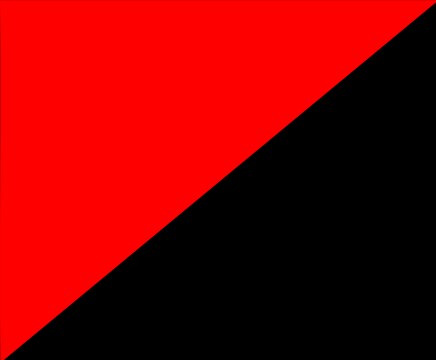
27/3期 配当予想：年間70円 (中間35円・期末35円、DOE 2.8% 期初公表を据え置き)



当期利益(億円)*	206	342	402	137	119	500
EPS(円)	60.31	99.94	117.37	40.36	37.62	157.07
配当性向(%)	29.8	30.0	30.7	123.9	159.5	44.6

*親会社の所有者に帰属する当期利益





6. おわりに

■ 当社のウェブサイト（<https://www.jtekt.co.jp/>）に「株主・投資家情報」を掲載しております。

株主・投資家情報

IRに関するお問い合わせ

本日の説明内容について
ご不明点等ございましたら、
『お問い合わせフォーム』を
こちらに用意していますので、
ご連絡下さい。
よろしくお願い致します。

統合報告書
(ジェイテクトレポート2025)

**非財務情報については、
『サステナビリティ』に掲載
しております。**

ジェイテクトは、スポーツを通じて、
あらゆるステークホルダーのみなさまに
夢と元気をお届けする存在を目指します!!

地域貢献

社会貢献

Joint Technology

JTEKT

ご清聴ありがとうございました



【本資料に関する注意事項】

本資料は、当社の概況・戦略を説明する目的の資料であり、投資の勧誘又は売買の推奨を目的としたものではありません。

また、本資料には、当社（連結子会社を含む）の業績予想や将来予測に基づく計画・戦略の記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性、および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動リスクなどを内容しています。

従って、実際の成果や業績、戦略などは、この資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

なお、本資料は金融商品取引法第13条第5項により目論見書以外の文書、図画、音声、及びその他の資料に該当する資料であり、当社事業の理解を深めるために当社が作成したものです。当社の有価証券への投資判断は目論見書入手し、そこに含まれる全ての情報を検討した上で行ってください。目論見書のご請求、お問い合わせは、取扱い証券会社までお願い致します。